WIRED

取扱説明書
INSTRUCTIONS

WIRED 7BC（7B22・7B32・7B42）

目次
この時計について
ソーラー充電について
電波の受信について
時差修正機能について
困ったときは

このたびは弊社ウオッチをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

ご使用にあたって

■ 充電を心がけましょう

この時計は文字板で受けた光を電気エネルギーに換え、電気を蓄えながら動いています。エネルギー残量が少ないと正常に動きません。【光のあたるところに置く・保管する】など、日常的に十分な充電を心がけましょう。

■ エネルギー残量は【秒針の動きかた】で確認することができます。
→ エネルギー残量を確認する　P.7

■ ソーラー充電について
→ 充電のしかた、充電にかかる時間のめやす　P.9

■ 電波を受信するために

この時計は毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻に合わせます。
自動受信は午前2時と午前4時です。

その時間帯は時計を身に着けずに、窓際などの【電波を受信しやすいところ】に置き、動かさないようにしましょう。
自動受信が成功し続けることで、特別な操作をせずに正確な時刻表示を保ちます。

■ 電波を受信しやすいところ
→ 受信環境について　P.12 - P.13

目　次

ご使用にあたって …… 2
この時計について …… 4
特　長 …… 4
各部の名称と主なはたらき …… 5
ボタンＢとりゅうずについて …… 6
ボタンＢの構造について …… 6
ねじロック式りゅうずについて …… 6
ソーラー充電について …… 7
エネルギーについて …… 7
エネルギー残量を確認する …… 7
エネルギー切れ予告機能について …… 7
パワーセーブ機能について …… 8
充電について …… 9
充電のしかた …… 9
充電にかかる時間のめやす …… 9
電源について …… 10
電波の受信について …… 11
電波を受信して時刻を合わせる …… 11
電波受信のしくみ …… 11
受信環境について …… 12
電波受信範囲のめやす …… 12
受信しやすくするために …… 13
受信しにくい環境 …… 13
電波が受信できているか確認する …… 14
受信結果表示について …… 14
時差修正機能について …… 15
時差修正機能の特長 …… 15
時差修正機能 Q&A …… 15
時差修正機能の使いかた …… 16
時差とサマータイム …… 18
世界の主な地域の時差一覧 …… 19
製品仕様 …… 20
困ったときは …… 21
電波を受信しても時刻・日付が合わないとき …… 21
針位置自動修正機能について …… 21
身のまわりにある磁気を発するもの …… 21
強制受信のしかた …… 22
電波の受信ができないとき …… 24
手動時刻合わせのしかた …… 24
手動日付合わせのしかた …… 25
万が一、異常な動きになったとき …… 26
システムリセットのしかた …… 26
日付基準位置について …… 28
日付基準位置の確認と合わせかた …… 28
こんなときは …… 30
使用上の注意とお手入れのしかた …… 34
アフターサービスについて …… 39

特　長

この時計はソーラー駆動の電波修正ウオッチです。日本の電波を受信して正しい時刻を表示します。
ソーラーパネルで受けた光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。

■ 電波受信 ……毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻に合わせます。手動で強制的に電波を受信させることもできます。日本の標準電波を受信します。
→ P.11～P.14

■ 受信レベル表示 ……電波の受信中に、秒針が受信状況を表示します。
→ P.23

■ 受信結果表示 ……秒針で、電波の受信結果（成否）を表示します。
→ P.14

■ 針位置自動修正 ……磁気などの外部影響で針がずれた場合に、自動的にずれを直します。
→ P.21

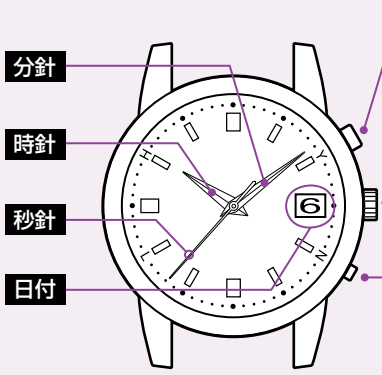
■ 時差修正 ……海外の現地時刻に合わせることができます。
→ P.15～P.19

■ ソーラー充電 ……文字板の下にあるソーラーセルで、光を電気エネルギーに換え、充電します。フル充電で約6ヶ月間動きつづけます。
→ P.7～P.10

■ エネルギー切れ予告……充電が必要なことを秒針の動きで知らせてくれます。
→ P.7

■ パワーセーブ ……光が当たらない状態が続いたときに、無駄なエネルギーの消費を抑える機能です。
→ P.8

各部の名称と主なはたらき



受信レベル表示

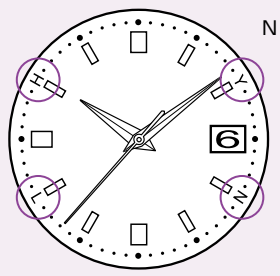
【自動受信・強制受信】

H ……受信レベル高い（10 時位置）

L ……受信レベル低い（8 時位置）

N ……受信できない（4 時位置）

※ 受信レベル表示について → P.23



受信結果表示

【受信結果の確認】

Y ……受信できている（2 時位置）

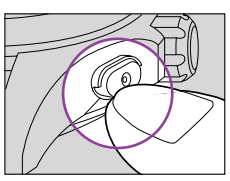
N ……受信できていない（4 時位置）

※ 受信結果表示について→ P.14

ボタン B とりゅうずについて

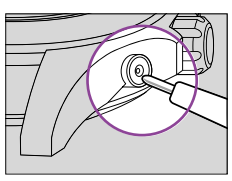
■ ボタン B の構造について

誤って押されることを防ぐために、指で簡単に押すことができない構造になっています。ボタンの形状はデザインによって異なります。



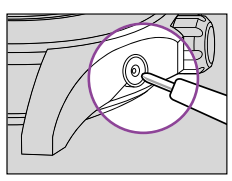
上半分がおおわれたもの

下側から指で押してください。または、先が細いものなどを使用して、へこみの部分を押してください。



周囲が全ておおわれたもの

先が細いものなどを使用して、へこみの部分を押してください。



ケースに埋め込まれたもの

先が細いものなどを使用して、へこみの部分を押してください。

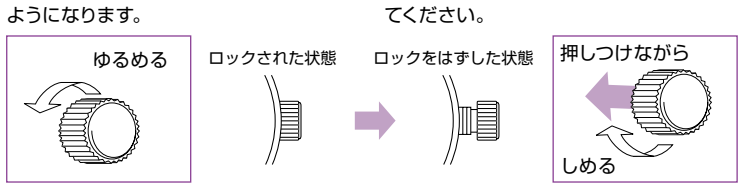
■ ねじロック式りゅうずについて

誤操作を防ぐために、使わないときにりゅうずをねじでロックします。

・りゅうずを操作するときはロックをはずします。
・操作が終わったらロックをしてください。

【ロックのはずしかた】
りゅうずを左（下方向）に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。

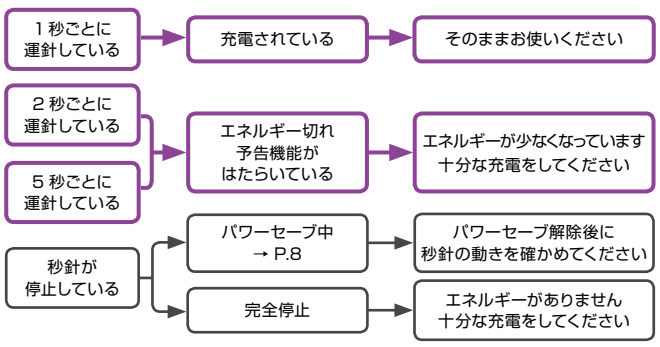
【ロックのしかた】
りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら、右（上方向）に止まるところまで回してください。



エネルギーについて

■ エネルギー残量を確認する

秒針の動きで、エネルギー残量のおおまかな状態がわかります。



※ 十分な充電後に 1 秒運針にならないとき → こんなときは P.33

■ エネルギー切れ予告機能について

エネルギー残量が少なくなると、エネルギー切れ予告機能がはたらきます。まず、秒針が2秒ごとに動く【2秒運針】になり、さらに充電がされない状態が続くと、秒針が5秒ごとに動く【5秒運針】になります。その後、エネルギーが切れると時計が停止します。

エネルギー切れ予告機能がはたらいたときは、十分な充電をしてください。

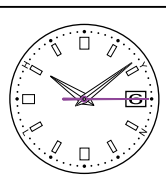
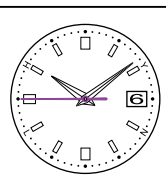
充電のしかた…… P.9
充電にかかる時間のめやす …… P.9
パワーセーブについて…… P.8

※ エネルギー切れ予告機能がはたらいているときは、ボタン・りゅうずを操作しても作動しません。（故障ではありませんので、ご安心ください。）
※ 5 秒運針中は、時針・分針・日付ともに停止しています。
※ 5 秒運針中は、自動受信の機能がはたらきません。十分な充電後に 1 秒ごとの運針に戻りましたら、電波を受信して正確な時刻に合わせましょう。（電波の受信について → P.11 ～ P.14）

エネルギーについて（続き）

■ パワーセーブ機能について

光があたらない状態が続くと、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ（節電）機能がはたらきます。

	パワーセーブ 1	パワーセーブ 2
条件	光があたらない状態が 72 時間以上続いた	充電不足の状態が長く続いた
状況	 秒針が 3 時の位置で停止し、時分針も停止	 秒針が 9 時の位置で停止し、時分針も停止
対処のしかた	5 秒以上光にあてると、針が早送りされて現在時刻に戻ります	十分な充電後、必要に応じて時刻を合わせてください

■ パワーセーブ1
光があたらない状態が72時間以上続くと、パワーセーブ1がはたらきます。
パワーセーブ1では、自動受信は行っています。
5秒以上光にあてると、針が早送りされて現在時刻に戻ります。

■ パワーセーブ2
充電不足の状態が続き、ある一定のエネルギー残量を下回ると、パワーセーブ2がはたらきます。パワーセーブ2では、自動受信は行いません。
パワーセーブ2の状態になったら、ただちに十分な充電をしてください。

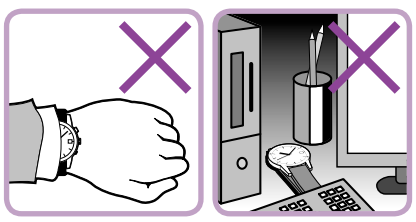
※ パワーセーブ 2 で充電をした場合、充電中は【5 秒運針】になります。【5 秒運針】の間はボタン・りゅうずとも操作できません。
※ パワーセーブ 2 が長時間続くと、エネルギー残量の低下により、内部で記憶されていた現在時刻の情報が失われます。十分な充電後に 1 秒ごとの運針に戻ったら、電波を受信して時刻を合わせてください。（電波の受信について → P.11 ～ P.14）

充電について

■ 充電のしかた

快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

時計を身に着けているときに服の袖などで隠れてしまう場合、光のあたりにくい環境での継続的な使用や保管などが続く場合は、充電不足による電池切れが起こる可能性が高くなります。



※ 使い始め、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、
右の表をめやすに十分な充電を心がけてください。

■ 充電にかかる時間のめやす

下記の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx（ルクス）	光源	環境（めやす）	フル充電まで	確実に 1 秒運針になるまで★	1 日ぶん動かすには
500	白熱球	60W　60cm	−	−	7 時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	−	−	5 時間
1000	蛍光灯	30W　70cm	−	15 時間	4 時間
3000	蛍光灯	30W　20cm	130 時間	5 時間	1.5 時間
5000	蛍光灯	30W　12cm	80 時間	2 時間	45 分
1 万	蛍光灯	30W　5cm	40 時間	1 時間	15 分
	太陽光	くもり			
10 万	太陽光	快晴（夏の直射日光下）	15 時間	30 分	3 分

★ この数値は、止まっていた時計に光をあて【確実に 1 秒運針になるまで】に必要な、充電所要時間のめやすです。 この時間まで充電しなくても 1 秒運針になりますが、その状態ではすぐに【2 秒運針】になる場合があります。 この時間をめやすに充電してください。

※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

※ 運針について　エネルギー残量を確認する →　P.7

電源について

■ 過充電防止機能について

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※ フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす　P.9」を参照ください。

⚠ 注意

■ 充電時のご注意

- 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受ける恐れがありますのでご注意ください。
- 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となりますので、ご注意ください。
- 時計が 60℃以上にならないようにしてください。

■ 使用電源について

- この時計には、一般の電池とは異なる専用の二次電池を使用しており、一般の酸化銀電池のように定期的な交換の必要はありません。
- ただし、二次電池は長い期間充放電をくり返すことにより、持続時間がわずかながら短くなる場合があります。　（使用状態や保管場所の環境などによって異なります。）
- 専用の二次電池は、環境に対して影響の少ないクリーンなものです。

⚠ 注意

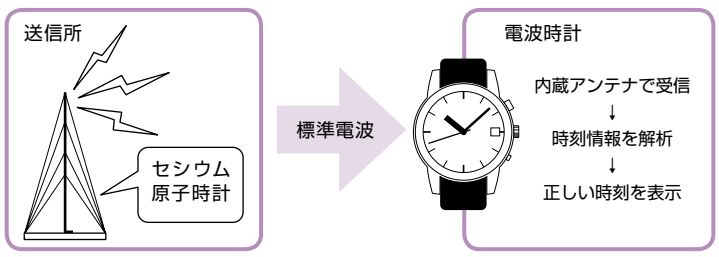
■ 二次電池交換時のご注意

- 二次電池を交換する際は、この時計専用の二次電池をご使用ください。
- 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、ご注意ください。
- 万が一、この時計専用の二次電池以外のものが組み込まれても、導通が取れない構造となっています。

電波を受信して時刻を合わせる

■ 電波受信のしくみ

正確な時刻情報をのせた標準電波を受信することにより、
正しい時刻や日付を表示する時計です。



標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という超高精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信します。
自動受信が行われるのは午前2時と午前4時です。
受信に成功した時点で自動受信を終了します。
その時間帯は時計を身に着けずに、窓際などの
【電波を受信しやすいところ】に置き、動かさないようにしましょう。

電波が受信できているかどうかは、いつでも確認することができます。
電波が受信できているか確認する（受信結果表示について）P.14

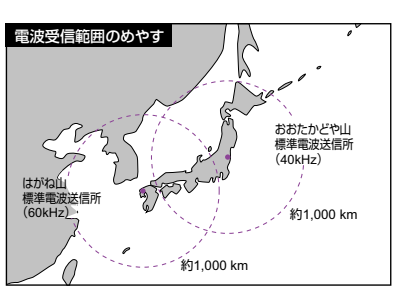
受信しにくい環境などで自動受信がうまくいかなかったときは、
手動で強制的に電波を受信させることができます。
自動受信ができないとき（強制受信のしかた）····· P.22

※ 時差を設定すると、電波の受信はできません。→ こんなときは　P.31
※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。→ 受信しにくい環境　P.13
※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。　→ 電波受信範囲のめやす　P.12

受信環境について

■ 電波受信範囲のめやす

この時計は、日本の標準電波を受信します。



【日本の標準電波：JJY】
情報通信研究機構により運用されています。
国内 2 ヶ所の送信所から、それぞれ異なる周波数で送信されています。

- 福島送信所：おおたかどや山：40kHz
- 九州送信所：はがね山：60kHz

受信範囲のめやすは、各送信所を中心に半径約 1,000km です。

※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。→ 受信しにくい環境　P.13
※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。

⚠ 注意

■ 電波受信について

- 電波障害などにより誤った受信をしたときは、誤った時刻を表示する場合があります。また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、受信を行なう場所を変えてお使いください。
- 標準電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
- 電波が受信できない場合でもクオーツの精度（平均月差± 15 秒）で動いてます。
- 設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波（電波停止）することがあります。停波に関する情報は、各送信所のホームページをご覧になるか、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

- 送信所のホームページアドレス（2007 年 7 月現在）
NICT 独立行政法人 情報通信研究機構（日本標準時プロジェクト）http://jjy.nict.go.jp/
- セイコーウオッチ（株）　お客様相談窓口（全国フリーダイヤル）　0120-612-911

■ 受信しやすくするために

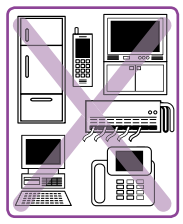
時計は、窓際などの電波を受信しやすい場所に置いてください。

時計には、電波を受信するためのアンテナが内蔵されています。
アンテナは時計の９時の位置にあります。

アンテナ部を、窓の外や電波送信所の方向に向けて置くと、より受信しやすくなります。

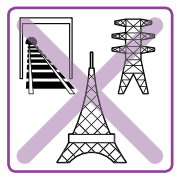
安定した状態で電波を受信するために、受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。

■ 受信しにくい環境



・テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家電製品の近く
・携帯電話、パソコン、FAXなど OA 機器の近く
・スチール机などの金属製の家具の上や近く

・ビルの中、ビルの谷間や地下



・高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く

・工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こる所

・乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

このような場所を避けて受信を行なってください。

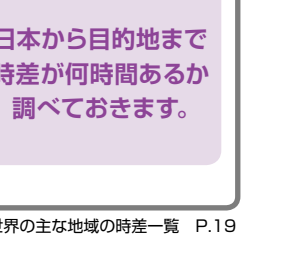
電波が受信できているか確認する

■ 受信結果表示について

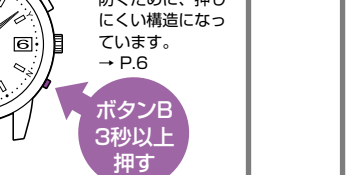
自動受信、強制受信を含め、最後に受信した結果（成否）を表示します。

※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → 電波受信範囲のめやす P.12
※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → 受信しにくい環境 P.13
※ 時差の設定をすると電波の受信はできません。 → こんなときは P.31

① ボタン A を 1 回押して離す



② 秒針の位置で、受信結果を確認する



ボタンを押すと秒針が動いて受信の成否を示します。
受信結果は 5 秒間表示されます。

※ 途中でボタン A を押すと、結果表示をキャンセルすることができます。

受信がうまくいかないときは、時計を置く場所や向きを変えてみましょう。
また、同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。

※ ボタン A を 3 秒以上長押しすると、秒針が【0 秒位置】に移動し、強制受信のモードに入ります。その場合はボタン A をもう一度押すと、強制受信がキャンセルできます。

時差修正機能とは

■ 時差修正機能の特長

1時間単位で海外の時刻に合わせることができます。
世界のほとんどの地域は、 1時間単位の時差になっています。

日本からの時差が基準です。
日本からの時差を基準にして、海外の時刻に合わせます。
日本からみた世界各地の時差は【マイナス 20 時間からプラス 4 時間】です。

時差を設定すると、自動で目的地の時刻を表示します。
時差修正機能のモードでは、秒針の位置が日本からの時差を表わします。
秒針をめやすにボタンを操作して、時差を設定しましょう。

→ 時差修正機能の使いかた P.16 ～ P.17
→ 時差とサマータイム P.18
→ 世界の主な地域の時差一覧 P.19

■ 時差修正機能 Q&A

Q ：海外から日本に戻ってきたときは、自動的に日本の時刻になりますか?
A ：移動しただけでは日本の時刻になりません。
時差を設定すると電波の受信を行なわなくなります。
日本で使う時は「時差修正機能」で日本時間に設定してください。

Q ：時差修正の操作をしている間は針が止まっているので、時刻がずれてしまうのではないですか?
A ：内部の回路が時刻を記憶していますので、時刻がずれることはありません。

Q ：時差を設定していると電波を受信しませんが、その間の時計の精度はどうなっていますか?
A ：時差を設定している間は、通常のクオーツ時計の精度になります。
（平均月差± 15 秒）

Q :15 分､30 分単位の時差がある地域の時刻に合わせるにはどうすればいいですか?
A :「時差修正機能」を使うと1時間単位で合わせることができます。
15 分、30 分単位の地域に合わせるときには「手動時刻合わせ 」の機能をお使いください。 → 手動時刻合わせのしかた P.24

時差修正機能の使いかた

① 目的地までの時差を把握する

日本から目的地まで時差が何時間あるか調べておきます。

→ 世界の主な地域の時差一覧 P.19

② ボタン B を押して時差修正モードに入る

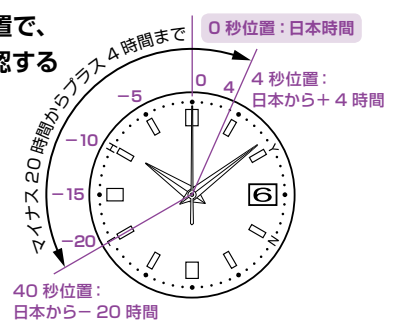
※ ボタンBは誤って押されることを防ぐために、押しにくい構造になっています。 → P.6

先の細いものなどを使ってボタンBを押します。
秒針が動いて、時差修正のモードに入ります。

※ 操作中に 5 秒以上放置すると、自動的に時刻表示に戻ります。その場合はもう一度やりなおしてください。

③ 秒針の位置で、時差を確認する

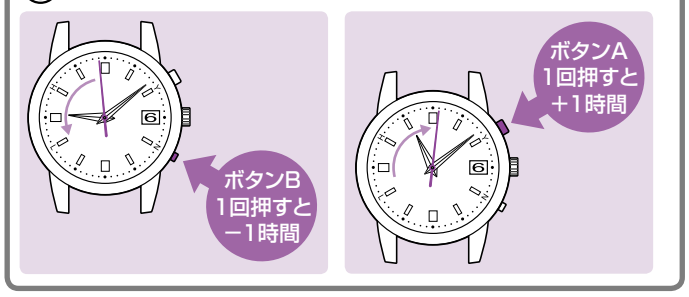
※ 操作の途中で 5 秒以上放置すると、自動的に時刻表示に戻ります。



秒針が、日本からの時差が何時間に設定されているかを示します。
秒の1目盛が、時差の1時間ぶんを表わしています。
→ 世界の主な地域の時差一覧 P.19

※ 秒針が【0秒位置】のときは日本時間に設定されています。（日本から時差 0 時間）

④ 秒針をめやすに、ボタンを押して時差を設定する



ボタンA、またはボタンBを1回押すごとに、秒針が1目盛動き、1時間の時差が設定されます。（同時に時分針が早送りされます。）秒針をめやすにボタンを必要回数押して、目的地の時差を設定しましょう。ボタンは連続して押すことができます。

※ 時分針の動きに気をとられずに、秒針の位置に注目しましょう。

⑤ 自動的に目的地の時刻を表示

時分針の早送りが止まると、5 秒後に秒針が動いて運針を始めます

日付が変わる場合は、自動的に修正されます。

時差を設定したときは、電波の受信を行ないません。
日本で使うときは日本時間に設定しましょう。

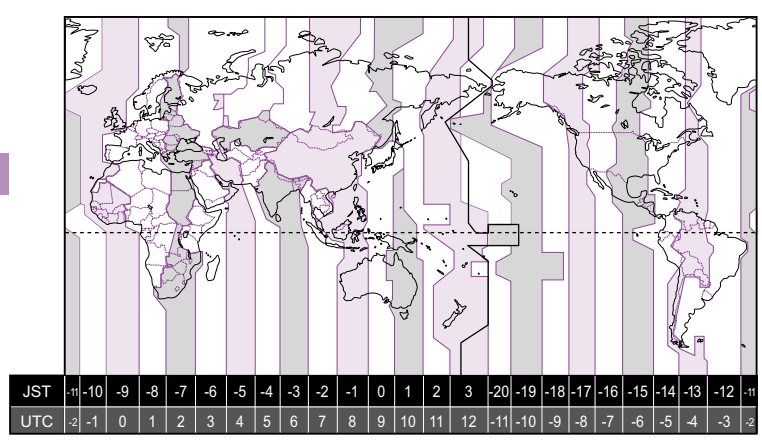
※ 日付が動いている間はボタン・りゅうずの操作はできません。

■途中で操作がわからなくなったときは、そのまましばらく放置してください。時分針の早送りが止まってから 5 秒後に、時差修正モードから抜けて、時刻表示に戻ります。
その後で改めて操作をしましょう。

■何時間の時差を設定したかは、②〜③までの操作で確認できます。

■日本へ帰国するときは、同じ手順で日本時間に戻してください。
日本時間は、③で秒針が【0秒位置】を示す状態です。

時差とサマータイム



■ 世界各地には【協定世界時（UTC）】を基準にした時刻の差、【時差】があります。世界各地は1時間ごとの時差を持つ 24 の地域（タイムゾーン）に分けられており、地球1周で 24 時間（1 日）になるように、国際的に運用されています。また、地域によっては個別に【サマータイム（DST）】が設定されています。

【協定世界時（UTC）】 Universal Time Coordinated

UTC は、国際協定により人工的に維持されている世界共通の標準時です。全世界で、時刻を記録する際の公式な時刻として使われています。天文学的に決められる世界時（GMT：グリニッジ標準時）に、うるう秒を加えてずれの無いように調整されたものです。日本の標準時（JST）は、UTC から＋ 9 時間です。

【サマータイム】 Daylight Saving Time

サマータイムは夏時間のことです。夏の日照時間の長いときに、時刻を 1 時間進めて昼間の時間を長くします。サマータイムは【時差＋ 1 時間】です。欧米を中心に、世界の約 80 カ国で実施されています。サマータイムの実施期間や実施地域は国によって様々です。

世界の主な地域の時差一覧

→ 時差修正機能の使いかた P.16 ～ P.17

代表都市名	日本からの時差	時差修正時の秒針位置
（ウェリントンのサマータイム）	＋ 4 時間	4 秒
★ウェリントン	＋ 3 時間	3 秒
ヌーメア	＋ 2 時間	2 秒
★シドニー	＋ 1 時間	1 秒
東京	± 0 時間	0 秒（12 時）
香港	− 1 時間	59 秒
バンコク	− 2 時間	58 秒
ダッカ	− 3 時間	57 秒
カラチ	− 4 時間	56 秒
ドバイ	− 5 時間	55 秒（11 時）
★モスクワ	− 6 時間	54 秒
★カイロ	− 7 時間	53 秒

★印の地域ではサマータイムが導入されています。（07/7 月現在）

※ ごく一部の地域では 15 分、30 分単位で時差が設定されている場合があります。（インドなど）
※ 各地域の時差やサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。

代表都市名	日本からの時差	時差修正時の秒針位置
★パリ	− 8 時間	52 秒
★ロンドン/UTC	− 9 時間	51 秒
★アゾレス諸島	− 10 時間	50 秒（10 時）
★リオデジャネイロ	− 11 時間	49 秒
（リオデジャネイロのサマータイム）	− 12 時間	48 秒
カラカス	− 13 時間	47 秒
★ニューヨーク	− 14 時間	46 秒
★シカゴ	− 15 時間	45 秒（9 時）
★デンバー	− 16 時間	44 秒
★ロサンゼルス	− 17 時間	43 秒
★アンカレッジ	− 18 時間	42 秒
ホノルル	− 19 時間	41 秒
ミッドウェー島	− 20 時間	40 秒（8 時）

製品仕様

■ 製品仕様

1.水晶振動数 ····· 32,768Hz（Hz ＝ 1 秒間の振動数）
2.精度 ····· 平均月差± 15 秒（電波受信による時刻修正が行われない場合、かつ気温 5℃～ 35℃において腕に着けた場合）
3.作動温度範囲 ··· − 10℃～+ 60℃
4.駆動方式 ····· ステップモーター式（時・分針、秒針、日付）
5.使用電源 ····· 二次電池：1 個
6.持続時間 ····· 約 6 ヶ月（フル充電でパワーセーブが作動しない場合）
※ フル充電をした状態から、パワーセーブが作動した場合は最大約 1.5 年
7.電波受信機能 ··· 自動受信（午前 2 時、午前 4 時）
※ 受信状況によって異なる
※ 受信から次の受信までは上記クオーツの精度で動く
※ 強制受信機能付
8.電子回路 ····· 発振、分周、駆動、受信回路：IC 3 個

※ 上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

電波を受信しても時刻・日付が合わないとき

■ 針位置自動修正機能について

電波の受信に成功しても時刻・日付が合わないときは、
基準位置がずれていることが考えられます。

電波時計は自動で時刻を合わせますが、そのときに基準となる針の位置がずれてしまうと、電波を受信しても正しい時刻を表示することができません。【基準となる針の位置がずれてしまう】とは、体重計に例えると「メーターのゼロ位置が合っていないために、正しい体重が表示できない」ということです。

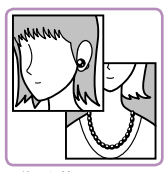
〈電波の受信に成功しても時刻・日付・曜日がずれるときとは・・・〉
- 強い衝撃を受けたとき
  落とす、強くぶつけるなどの衝撃によって、針の位置がずれることがあります。
- 磁気の影響を受けたとき
  磁気を発するものに近づけることで、針の位置がずれることがあります。

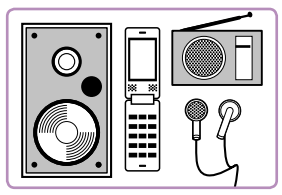
この時計には、針の基準位置がずれたときに、自動的に正しく修正する「針位置自動修正機能」がついています。
針位置自動修正機能は、秒針は 1 分に 1 回、時分針は午前・午後 12 時にはたらきます。

※ 日付が基準位置からずれた場合は、手動で合わせる必要があります。
→ 日付基準位置の確認と合わせかた　P.28 ～ P.29

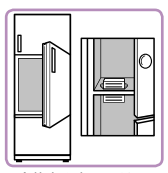
■ 身のまわりにある磁気を発するもの

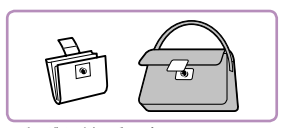
・マグネットクリップ


・磁石を使ったアクセサリー


・オーディオ機器、ラジオ、イヤホン
携帯電話などのスピーカー

・磁気治療器（シップ、
寝具、腰痛バンドなど）


・冷蔵庫や家具のドアの
マグネット


・バッグや財布の留め金

強制受信のしかた

① 時計を置く

時計を腕からはずし、窓際などの電波を受信しやすい場所に置きます。

→ 受信しやすくするために　P.13
※ 受信範囲の外では受信できません。
→ 電波受信範囲のめやす　P.12

② ボタン A を 3 秒以上押す

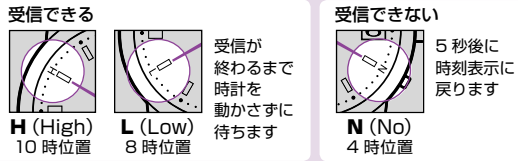
秒針が 0 秒位置に移動するまで、ボタン A を 3 秒以上押し続けます。秒針が 0 秒位置に移動したらボタンを離してください。

※ 秒針が 0 秒位置に移動しないとき（受信できないとき）
→ こんなときは　P.31

③ 受信中は、時計を動かさずに待つ

受信には最長 12 分かかります

受信中は、秒針が電波受信の状況【受信レベル】を表示します。



1分ごとに秒針が動いて【受信レベル】を更新します。
（秒針の動きにともなって、分針が 1 分ずつ動くことがあります。）
受信が終了して、秒針が秒を刻み始めるまでお待ちください。

※ 受信中にボタン A を押すと、途中で受信をキャンセルすることができます。

④ 受信の終了

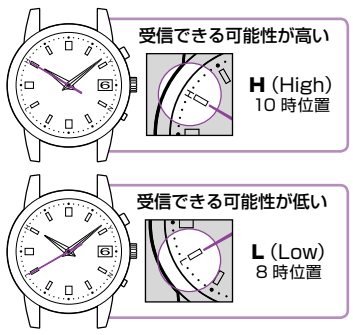
秒針が秒を刻み始めると受信が終了します

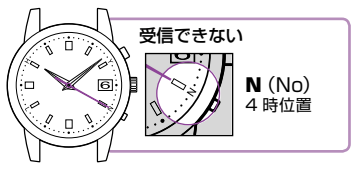
電波が受信できたかどうか確認してみましょう。
→ 受信結果表示について P.14

※ 環境によっては電波が受信しにくいことがあります。
→ 受信しにくい環境　P.13

■ 受信レベル表示について

受信中は、秒針が電波受信の状況【受信レベル】を表示します。
1 分ごとに秒針が動いて【受信レベル】を更新します。





受信レベルが N になったときは、
「電波の受信に適さない環境にある」ということです。
5 秒後に、自動的に受信がキャンセルされます。

※ 受信レベル表示の【N】は 5 秒間しか表示されません。
受信ができたかどうかは【受信結果】を見て確認しましょう。
→ 電波が受信できているか確認する　P.14

電波の受信ができないとき

■ 手動時刻合わせのしかた

電波が受信できない環境では、通常のクオーツ時計としてお使いいただけます。（平均月差± 15 秒）そのようなときは手動で時刻を合わせることができます。

① りゅうずを 2 段引き出す

※ りゅうずは誤操作を防ぐために、ロックできる構造になっていることがあります。
→ P.6

りゅうずを 2 段引くと、秒針が 0 秒位置に移動し、手動時刻合わせのモードに入ります。

※ りゅうずを 2 段引くと、電波受信結果のデータが失われ、受信結果を確認しても「N」と表示されます。

② ボタン A を押して、時刻を合わせる

※ 日付が変わるところが午後 12 時(午前0時)です。午前・午後に注意して時刻を合わせてください。

ボタン A を 1 回押すごとに、時刻が 1 分進みます。

ボタン A を長押しすると、時分針の早送りがスタートし、もう一度押すとストップします。

※ りゅうずを回しても針は動きません。
※ 針を進めて時刻を合わせます。針を逆に戻すことはできません。

③ りゅうずを押し戻す

時報などに合わせて、りゅうずを戻すと時計が動き始めます。

■ 手動日付合わせのしかた

電波が受信できない環境などで、自動で日付が変わらない場合（大の月から小の月に変わる際など）は、手動で日付を合わせてお使いください。

① りゅうずを 1 段引き出す

※ りゅうずは誤操作を防ぐために、ロックできる構造になっていることがあります。→ P.6

りゅうず 1段引く

りゅうずを 1 段引くと、手動日付合わせのモードに入ります。（時計は動いたままです。）

※ りゅうずを２段引くと、手動時刻合わせモードに入ります。電波受信結果のデータが失われますのでご注意ください。

② ボタン A を押して、日付を合わせる

ボタンA 1回押すと 1日進む

※ りゅうずを回しても日付は動きません。

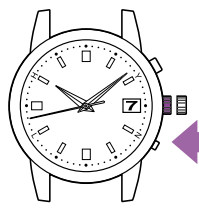
※ 日付を進めて合わせます。日付を逆に戻すことはできません。

ボタン A を 1 回押すごとに、日付が 1 日進みます。

ボタン A を長押しすると、日付の早送りがスタートし、もう一度押すとストップします。

※ 日付は時刻に関係なく、単独で修正することができます。

③ りゅうずを押し戻す



りゅうず 戻す

りゅうずを戻すと、操作は完了です。

万が一、異常な動きになったとき

■ システムリセットのしかた

万が一異常な動きになったとき、または十分な充電を行なったが1秒運針にならないときは、システムリセットをすることで正常に機能するようになります。

① りゅうずを 2 段引き出す

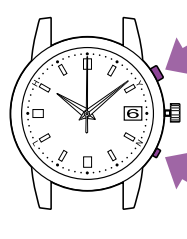
※ りゅうずは誤操作を防ぐために、ロックできる構造になっていることがあります。→ P.6

りゅうず 2段引く

りゅうずを 2 段引くと、秒針が 0 秒位置に移動し、手動時刻合わせのモードに入ります。

※ りゅうずを２段引くと、電波受信結果のデータが失われ、受信結果を確認しても「N」と表示されます。

② ボタン A、B を、同時に 3 秒以上長押しする



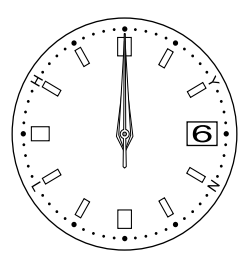
ボタンA

同時に 3 秒以上長押し

ボタンB

秒針が 1 回転した後で、時・分針が早送りされ、すべての針が 12時位置で停止します。日付はそのままの位置で停止します。

※ ボタンBは誤って押されることを防ぐために、押しにくい構造になっています。 → P.6

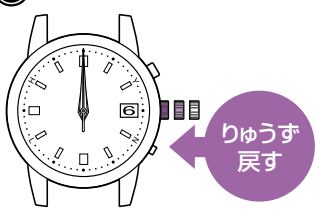


※ ボタンを同時に押している時間が3秒以上であれば、システムリセットははたらきます。2つのボタンを同時に押し始める必要はありません。ボタン B を先に押し始め、ボタン B を押したまま離さずにボタン A を押すと、うまく押せます。

※ 秒針が2秒、または5秒ごとに動いているときは異常な動きではなく、エネルギー切れ予告機能がはたらいていると考えられます。→ エネルギー切れ予告機能について　P.7

※ 針位置自動修正機能がはたらいて針が早送りされる場合がありますが、これも異常な動きではありません。→ 針位置自動修正機能について　P.21

③ りゅうずを押し戻す



りゅうず 戻す

りゅうずを戻すと時計が動き始めます。

④ 日付基準位置を合わせる

日付の基準位置を合わせてください → P.28 ～ P.29

※ システムリセットの直後に表示されている日付が基準位置になっています。日付が「1」でない場合は基準位置がずれています。

⑤ 時刻を合わせる

強制受信をして時刻を合わせてください → P.22 ～ P.23

電波が受信できない環境では、手動で時刻を合わせてください。→ P.24

手動で合わせる場合は、午前・午後をきちんと合わせてください。

※ 時刻の午前・午後を合わせることで、受信しやすい時間帯に自動受信が行われます。

日付基準位置について

■ 日付基準位置の確認と合わせかた

電波の受信に成功しても日付が合わないときは、日付の基準位置がずれていると考えられます。日付の基準位置は以下の手順で合わせてください。

① ボタン A、B を、同時に 3 秒以上長押しする

ボタンA

同時に 3 秒以上長押し

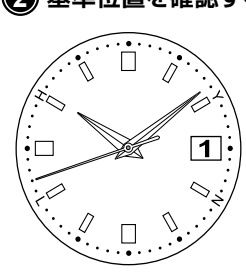
ボタンB

時・分・秒針がその場で停止し、日付が動き始めます。

※ ボタンBは誤って押されることを防ぐために、押しにくい構造になっています。 → P.6

※ ボタンを同時に押している時間が3秒以上であれば作動します。2つのボタンを同時に押し始める必要はありません。

② 基準位置を確認する



日付が【1】のとき、基準位置は合っています。

【1】でないときは合わせます。

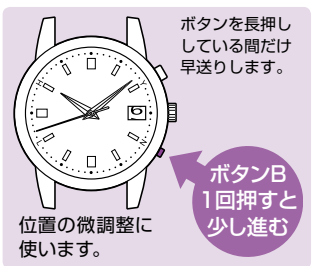
日付が「1」のときは、操作は終わりです。

※ 操作中に 8 秒以上放置すると、時刻表示に戻ります。その場合は①から操作しなおしてください。

※ ボタン B を先に押し、ボタン B を押したまま離さずにボタン A を押すと、うまく押せます。（ボタン B のみを押して離すと時差修正のモードに入ります。秒針が動くまで何もせずにお待ちいただくと、時差修正モードが終了し、再び操作できます。）

基準位置をきれいに合わせるには、まず日付を「30」または「31」で停止させます。窓の位置を見て数字とのずれを確認し、ずれがあればボタンBを押して位置を微調整し、最後にボタンAを押して「1」にします。

③ ボタンAまたはBを押して、日付を「1」に合わせる



④ 自動でモードから抜ける

自動的に時刻表示に戻ります。

こんなときは

現 象		考えられる原因	このようにしてください
針の動き	秒針が2秒ごとに運針している	エネルギー切れ予告機能がはたらいている 毎日身につけていてこの現象が起こる場合は、携帯中の時計が衣類の袖の中などに隠れているなど、十分な光があたっていないことが考えられます。	十分な充電をしてください。 → エネルギー切れ予告機能について　P.7、充電について　P.9 携帯中は、なるべく時計が袖などに隠れないようにお気をつけください。 また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心がけましょう。 （明るい場所に置く際は、時計が60度以上の温度にならないようにお気をつけください。）
	秒針が5秒ごとに運針している		
	秒針が3時位置または9時位置で停止している状態から動き出した	パワーセーブ機能がはたらいていた 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるためにパワーセーブ機能がはたらきます。	→ パワーセーブ機能について　P.8 秒針が5秒ごとに動いている場合は、ただちに充電してください。
	ボタン操作を何もしていないのに針が早送りされ、その後は普通に運針している	針位置自動修正機能がはたらいた 外部からの影響などで針がずれた場合には、針位置自動修正機能がはたらいて自動的に針のずれを直します。	そのまま何もせずにお使いください。（異常な動きではありません。） → 針位置自動修正機能について　P.21

現 象		考えられる原因	このようにしてください
電波の受信	受信できない	受信中に時計を動かした	受信中は、時計を傾けたり向きを変えたりなど、動かさないようにしてください。 → 受信しやすくするために　P.13
		受信中に受信のキャンセルをした	受信中にボタンAを押すと受信がキャンセルされます。（自動受信、強制受信ともに）
		受信している場所の電波が弱い 電波の届かない環境にある	受信しやすい環境に時計を置き、受信をしてください。 → 受信しにくい環境　P.13
		標準電波送信所の都合で電波を止めている （停波）	停波に関する情報は送信所を運営する機関のホームページを参照ください。 → 注意　電波受信について　P.12
		時差が設定されている	時差の設定を確認し、日本時間にしてください。 → 時差修正機能の使いかた　P.16
		手動時刻合わせで、午前・午後を合わせていない	午前・午後を合わせてください。 → 手動時刻合わせのしかた　P.24 → 手動日付合わせのしかた　P.25

こんなときは（続き）

現 象		考えられる原因	このようにしてください
時刻、針の位置ずれ	時計が一時的に進む、または遅れる	外部からの影響で間違った時刻を受信した （誤受信）	より受信しやすい環境で受信するようにしてください。 必要に応じて強制受信をしてください。 → 受信しにくい環境　P.13、強制受信のしかた　P.22～P.23
		時計を暑いところ、または寒いところに放置した	常温に戻れば元の精度に戻ります。 必要に応じて強制受信をしてください。 → 強制受信のしかた　P.22～P.23
	時刻が数時間単位でずれている	時差が設定されている	時差の設定を確認し、設定しなおしてください。 → 時差修正機能の使いかた　P.16～P.17
	受信に成功したのに時刻がずれている	外部からの影響で針の位置がずれている	何もせずにそのままお使いください。 針位置自動修正機能がはたらいて、自動的に修正されます。 → 針位置自動修正機能について　P.21 自動で修正されない場合はシステムリセットをしてください。 → システムリセットのしかた　P.26～P.27 システムリセットを行なっても針のずれが修正されない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	「受信結果表示」や「受信レベル表示」で、秒針の位置がずれている	秒針の基準位置がずれている （外部からの影響などにより、秒針の位置がずれているときに起こります。）	

現 象		考えられる原因	このようにしてください
充　電	止まっていた時計を「フル充電までの所要時間」を超えて充電しても1秒運針にならない	あてる光が弱い 充電中に光のあたりかたが変わった	光のあたりかたが変わらないように配慮して、十分な明るさのある環境で充電してください。
		時計内部のシステムが不安定になっている	システムリセットをしてください。 → システムリセットのしかた　P.26 ～ P.27
操　作	ボタン、りゅうずが動作しない	エネルギー残量が少なくなり、 2秒運針または5秒運針をしている	十分な充電をしてください。 → エネルギー切れ予告機能について　P.7、充電について　P.9
		いろいろな設定の操作直後で、 カレンダーが動いている途中である	何もせず、そのままお待ちください。 カレンダー送りが終了すると操作ができるようになります。
	設定中に操作がわからなくなった	―――――――――――――――――――――	しばらく放置すると通常運針に戻ります。 （手動時刻合わせ、手動日付合わせ、システムリセットの場合はりゅうずを戻してください。） その後で改めて操作をやりなおしてみましょう。
その他	ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った	お買い上げ店にご相談ください。

使用上の注意とお手入れのしかた

⚠ 注意

■ 防水性能

・時計の文字板、または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

			洗顔や雨など一時的にかかる水滴	水泳や水仕事など長時間水に触れる場合	空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）や入浴	空気ボンベやヘリウムガスなどを使用する本格的な潜水	水滴がついた状態でのボタン操作
非防水		ケースの裏に WATER RESISTANT の表示のない時計	×	×	×	×	×
日常生活用防水		ケースの裏に WATER RESISTANT の表示のある時計	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水	5気圧防水	ケースの裏に WATER RESISTANT 5・10・15・20BAR か、WATER RESIST と マークのある時計	○	○	×	×	○
	10・15・20気圧防水		○	○	○	×	○

⚠ 注意

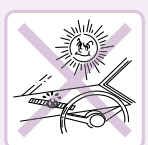
・水分のついたままりゅうずやボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスがサビることにより、防水不良になる恐れがあります。
・入浴やサウナの際は、ご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めます。
・直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも、防水不良になる恐れがあります。

⚠ 警告

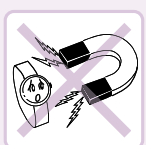
・日常生活用防水（3 気圧）の時計は、水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（5 気圧）の時計は、スキンダイビングを含めてすべての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10･20 気圧）の時計は、飽和潜水 / 空気潜水には使用できません。

使用上の注意とお手入れのしかた（続き）

■ 保管について



・「− 10℃～＋ 60℃からはずれた温度」では、機能が低下したり、停止する場合があります。
※ この時計は常温（5℃～ 35℃の範囲内）で腕に付けた時に安定した精度を得られるように調整してあります。したがって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温に戻れば元の精度にもどります。



・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。

・強い振動のあるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。

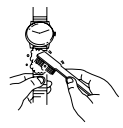
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、及びそれらを含有するもの－ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など－水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください

⚠ 注意

■ 日常のお手入れ

・ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心がけてください。
・すきま（金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど）の汚れは、柔らかい歯ブラシが有効です。
・海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってから拭き取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
・りゅうずのサビつきを防止するために、ときどきりゅうずを回してください。
・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。（りゅうずを引き出す必要はありません。）

金属バンド
金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。



革バンド
革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

軟質プラスチックバンド
ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石けん水で洗ってください。化学製品ですので、溶剤によって変質することがあります。通常、数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

使用上の注意とお手入れのしかた（続き）

⚠ 注意

■ かぶれやアレルギーについて

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは以下の２つです。
　1. 金属・皮革に対するアレルギー
　2. 時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗
・万が一、肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。
・万が一、金属バンドのピンが飛び出している場合は、怪我をする恐れがありますのでただちにご使用をやめて修理をご依頼ください。

⚠ 注意

■ アナログクオーツ時計の耐磁性能

JIS 耐磁時計種類	耐磁性保証水準	耐磁表示（裏ぶた）	耐磁性
−	1,600A/m	表示なし	ほとんどの時計が耐えられる耐磁性水準
1 種	4,800A/m		日常生活において磁界を発生する機器に 5cm まで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性水準
2 種	16,000A/m		日常生活において磁界を発生する機器に 1cm まで近づけても、ほとんどの場合、性能を維持できる耐磁性水準

※ ダイバーズウオッチの場合は、必ず耐磁時計ですので、裏ぶたに耐磁表示はありません。

■ その他、携帯上ご注意いただきたいこと

・バンドの着脱の際には、中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますので、ご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合もありますので十分ご注意ください。

アフターサービスについて

■ 分解掃除による点検調整（オーバーホール）について

・長くご愛用いただくために、３年～４年に一度程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。
また、パッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整（オーバーホール）をお買いあげ店にご指定ください。
部品交換のときは、「純正部品」とご指定ください。分解掃除による点検調整（オーバーホール）の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■ 修理について

1. 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき、大切に保管してください。
2. この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常７年を基準としています。
　正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理が可能です。
　（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために不可欠な修理用部品です。）
3. 修理可能な期間は、ご使用条件によりいちじるしく異なり、制度が元通りにならない場合がありますので、修理をご依頼の際にお買いあげ店にて良くご相談ください。
4. 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。
　また、ケースごとの一式交換や代替品に替わることもありますので、あわせてご了承ください。
5. 修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。

その他、わからない点がございましたら、裏表紙に記載の「セイコーウオッチ株式会社お客様相談窓口」へお問い合わせください。

WIRED

INSTRUCTIONS

WIRED 7BC（7B22・7B32・7B42）

CONTENTS
ABOUT THIS WATCH
CHARGING SOLAR BATTERY
SETTING THE TIME BY RECEIVING RADIO SIGNAL
TIME ZONE ADJUSTMENT
TROUBLESHOOTING

Thank you very much for choosing our watch.
Please read carefully the instructions in this booklet for proper and safe use of your watch before start using it, and keep this manual handy for easy reference.

BEFORE USE

■ Make sure to keep the watch sufficiently charged

The watch operates while charging electricity by converting light received on the dial to electrical energy. It cannot properly operate unless the remaining energy is sufficient. Place or store in a location receiving light, etc., to sufficiently charge electricity.

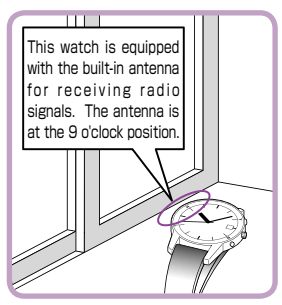
■ The amount of energy stored in the watch can be checked by the movement of the second hand.
→ Checking the charging status by the movement of the second hand. Refer to page 47

■ Charging the solar battery
→ How to charge the watch Standard charging time. Refer to page 49

■ To receive radio signals

The watch automatically receives radio signals to adjust the time every day.
Automatic radio signal reception is carried out at two and four o'clock during the night.

During this period of time, do not wear the watch, but put it "places where the watch can receive radio signals easily", for example, by a window, etc. and do not move it.
If the watch continues to succeed in automatic reception of radio signals, it keeps the precise time without requiring special operation.



■ Places where the watch can receive radio signals easily.
→ Appropriate place to keep a Radio-controlled watch Refer to pages 52 to 53

CONTENTS

BEFORE USE ····42
ABOUT THIS WATCH ····44
Features ····44
Name and Function of Each Part ····45
Button B and Crown ····46
How to use button B ····46
Screw lock type crown ····46
CHARGING SOLAR BATTERY····47
About Remaining Amount of Energy ····47
Checking the charging status ····47
Energy depletion forewarning function ···47
Power save function····48
How to Charge ····49
How to charge the watch ····49
Standard charging time ····49
Power Source ····50

RECEIVING RADIO SIGNAL ····51
Setting the Time by Receiving Radio Signal ···51
What is a radio-controlled watch? ····51
Appropriate Place to Keep a Radio-Controlled Watch ···52
Reception range of each standard frequency ···52
To enable the watch to receive radio signals easily ···53
Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals ···53
Confirm Reception Result ····54
Confirm reception result ····54
TIME ZONE ADJUSTMENT ····55
Features of time zone adjustment function ···55
Time Zone Adjustment Function Q & A ···55
How to Use Time Zone Adjustment Function ···56
Time Zone and Summer Time ····58
World Main Area Time Zone List ····59
SPECIFICATION ····60

TROUBLESHOOTING····61
When the Time and Date are not Correctly Displayed Even after Receiving the Radio Signal ···61
The automatic hand alignment function ···61
Examples of common products that generate magnetic field ···61
How to manually receive radio signals···62
When Reception is not Operated ····64
How to manually set the time ····64
How to manually set the date ····65
Abnormal Display or Improper Function ···66
How to reset the built-in IC ····66
About the Preliminary Position of the Date ···68
How to check and correct the preliminary position of the date ···68
Troubleshooting ····70
CARE OF YOUR WATCH ····74
AFTER-SALE SERVICE ····79

Features

This is a solar radio-controlled watch. The watch receives official standard frequencies of Japan (from either of two transmitting stations) to display correct time. A solar cell underneath the dial converts any form of light into"electrical energy"to operate the watch.

■ Automatic Time Setting ··· The watch maintains the precise time by automatically receiving radio signals on an official standard frequency. It is also possible to make the watch manually receive radio signals. The watch can receive official standard frequencies of Japan (from either of two transmitting stations).
Refer pages 51 to 54

■ Display of Radio Signal Reception Level ··· During reception attempts, the second hand displays the reception level of radio signals.
Refer to page63

■ Display of Radio Signal Reception Result ··· The second hand displays the reception result of radio signals (success or failure).
Refer to page54

■ Automatic Hand Alignment ··· When the hand positions deviate to display incorrect time as a result of influence of various external sources such as magnetic source, the watch automatically corrects the hand alignment itself.
Refer to page61

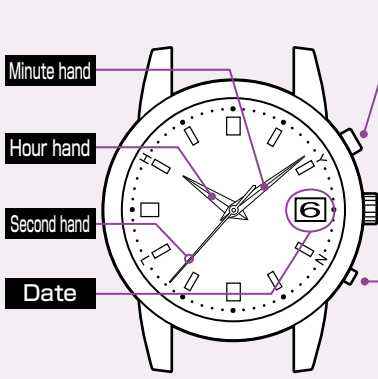
■ Time Zone Adjustment ··· The watch can be set to local time in a different time zone from Japan Standard Time by selecting a time zone.
→ Refer to pages 55 to 59

■ Solar Rechargeable Battery ··· A solar cell underneath the dial converts any form of light into "electrical energy" to power the watch and the power is stored in a secondary battery. Once fully charged, the watch continues to run for approximately six months.
→ Refer to pages 47 to 50

■ Energy Depletion Forewarning Function ··· The movement of the second hand indicates that the battery should be charged.
→ Refer to page 47

■ Power Save ····· The Power Save mode can be activated in order to reduce unnecessary energy consumption when the watch is left without an adequate light source.
→ Refer to page 48

Name and Function of Each Part

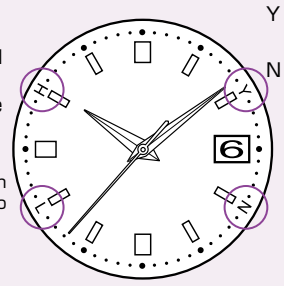


Reception Level Display

【Automatic Reception and Manual Reception】

H ･･･ High reception level (10 o'clock position)
L ･･･ Low reception level (8 o'clock position)
N ･･･ Unable to receive radio signals (4 o'clock position)

※ "About the reception level display" refer to page 63



Reception Result Display

【Confirmation of reception result】

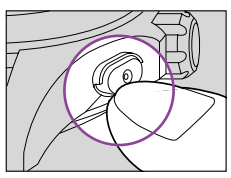
Y ･･･ Reception Successful (2 o'clock position)
N ･･･ Reception Failed (4 o'clock position)

※ "Confirm reception result" refer to page 54

Button B and Crown

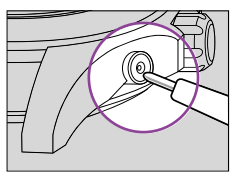
■ How to use button B

Button B is recessed in the watchcase to prevent accidental input.
Types of buttons differ depending on the design of the watch.



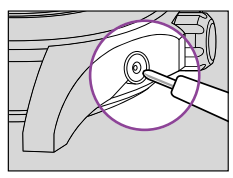
Upper half of Button B is covered.

Press the lower half of Button B or press the hollow in the middle of the button using an object with a long tapered tip.



Button B is covered except the hollow in the middle of the button.

Press the hollow using an object with a long tapered tip.



Button B is recessed in the watchcase.

Press the hollow in the middle of the button using an object with a long tapered tip.

■ Screw lock type crown

To prevent any operational errors, the crown must be securely locked by screw when it is not being operated.

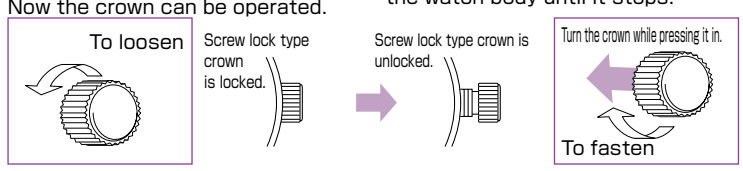
- Before operating the crown, it is necessary to unlock it.
- Once you have finished operating the crown, make sure to relock it.

【How to unlock the screw lock type crown】

Turn the crown counterclockwise (downward) to unscrew it.
Now the crown can be operated.

【How to lock the screw lock type crown】

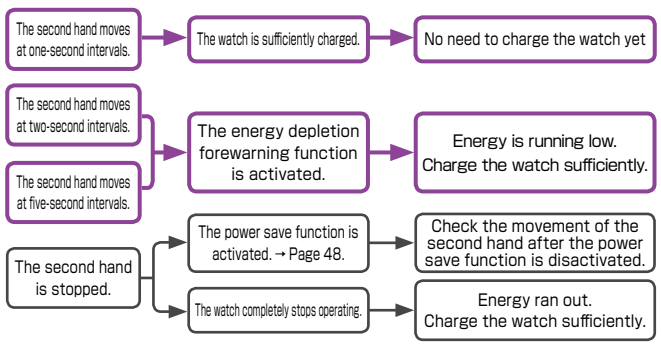
Turn the crown clockwise (upward) while gently pressing it in toward the watch body until it stops.



About Remaining Amount of Energy

■ Checking the charging status

The approximate amount of energy stored in the watch can be checked by the movement of the second hand.


The second hand moves at one-second intervals.
The watch is sufficiently charged.
No need to charge the watch yet
The second hand moves at two-second intervals.
The second hand moves at five-second intervals.
The energy depletion forewarning function is activated.
Energy is running low. Charge the watch sufficiently.
The second hand is stopped.
The power save function is activated. → Page 48.
Check the movement of the second hand after the power save function is disactivated.
The watch completely stops operating.
Energy ran out. Charge the watch sufficiently.

※ If the second hand does not return to one-second interval movement after full charge, refer to "Troubleshooting." P. 73.

■ Energy depletion forewarning function

The energy depletion forewarning function is activated when the energy stored in the watch runs low. In such a case, the second hand moves at two-second intervals. If the watch continues to be in the state of two-second interval movement, the watch switches to five-second interval movement, followed by a completely stopped state.
If the energy depletion forewarning function is activated, charge the watch sufficiently.

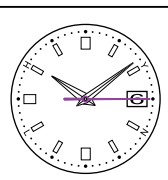
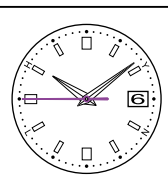
How to charge the watch ･･ Refer to page 49
Standard charging time ････ Refer to page 49
Power save ･･･････････････ Refer to page 48

※ Neither the buttons nor the crown can be operated while the energy depletion forewarning function is activated. (This is not a malfunction.)
※ While the second hand moves at five-second intervals, the hour and minute hands and calendar stop operating.
※ While the second hand moves at five-second intervals, the watch is unable to receive radio signals automatically. After the watch is sufficiently charged and the second hand returns to normal one-second interval movement, conduct the manual reception of radio signals to set the watch to the correct time. (About radio signal reception, refer to pages 51 to 54).

About Remaining Amount of Energy (continued)

■ Power save function

The power save function is automatically activated to limit energy consumption when the watch is not exposed to adequate light for a certain period of time.

	Power Save One	Power Save Two
Condition	The watch is left without an adequate light source for longer than 72 hours.	The watch is left insufficiently charged for a long time.
Symptom	 The second hand rotates to point at the 3 o'clock position and stops. The hour and minute hands also stop moving.	 The second hand rotates to point at the 9 o'clock position and stops. The hour and minute hands also stop moving.
Remedy	Expose the watch to adequate light for five seconds or longer. The hands of the watch will quickly turn to display the current time.	Charge the watch sufficiently and set the time if necessary.

■ Power Save One

When the watch is not exposed to an adequate light source for longer than 72 hours, the watch enters the Power Save One.
In this state, the watch will continue to conduct automatic reception.
When the watch is exposed to adequate light for five seconds or longer, the hands of the watch will quickly advance to display the current time.

■ Power Save Two

When the watch continues to be insufficiently charged, and the stored power falls below a certain level, the watch automatically switches to the Power Save Two.
In this state, the watch will stop conducting automatic reception.
When the watch enters the Power Save Two, immediately charge it sufficiently.

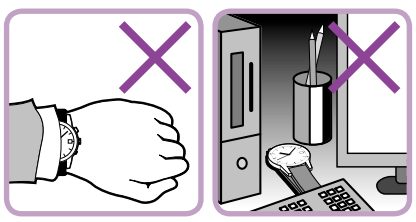
※ While the watch is being charged when it is in the Power Save Two, the second hand moves at five-second intervals. Neither the buttons nor the crown can be operated while the watch is in five-second-interval movement.
※ If the watch is in the Power Save Two for a prolonged period, the amount of stored power drops and the internal time settings will be lost. If this happens, after the watch is sufficiently charged and the second hand returns to normal one-second interval movement, conduct the manual reception of radio signals to set the watch to the correct time. (About radio signal reception, refer to pages 51 to 54).

How to Charge

■ How to charge the watch

To enjoy optimal performance of this watch, make sure that the watch is kept sufficiently charged at all times.

If the watch is concealed under a long sleeve shirt, or if it is used or stored continually under conditions where it cannot receive sufficient light, the power stored in the solar cell may be easily depleted because the watch cannot be sufficiently charged.



※ Before initially using the watch or when the watch has stopped as a result of complete depletion of stored power, charge the watch sufficiently.

■ Standard charging time

Charge the watch refer to the table below.

Illumination 1 x (LUX)	Light source	Condition (Example)	Time required for fully charging the watch	Time required for charging the watch to start moving at one-second intervals★	Time required for charging the watch to run for one day
500	Incandescencent light	60W 60cm	–	–	7 hours
700	Fluorescent light	General offices	–	–	5 hours
1000	Fluorescent light	30W 70cm	–	15 hours	4 hours
3000	Fluorescent light	30W 20cm	130 hours	5 hours	1.5 hours
5000	Fluorescent light	30W 12cm	80 hours	2 hours	45 minutes
10000	Fluorescent light	30W 5cm	40 hours	1 hours	15 minutes
	Sunlight	Cloudy day			
1000000	Sunlight	Sunlight Sunny day (Under the direct sunlight on a summer day)	15 hours	30 hours	3 minutes

★ The figures in the table above refer to the time required to charge the stopped watch by exposure to light until the watch moves at steady one-second intervals. Even if the watch is partially charged for a period shorter than the time provided in the above table, it will resume one-second interval movement, however, the one-second interval movement will change to two-second interval movement shortly. To avoid this and charge the watch to a sufficient level, use the charging time mentioned above as a measure.

※ The required charging time slightly varies depending on the model of the watch.

※ For the movement of the second hand, check the amount of remaining energy. Refer to page 47.

Power Source

■ Overcharge prevention function

There is no need to worry about damage caused by overcharging no matter how much the secondary battery is charged in excess of the time required for fully charging the watch. When the secondary battery is fully charged, the overcharge prevention function is automatically activated to avoid further charging.

※ For the time required for fully charging the watch, refer to "Standard charging time." Refer to page 49.

⚠ CAUTION

■ Notes on charging the watch

- When charging the watch, do not place the watch in close proximity to an intense light source such as lighting equipment for photography, spotlights or incandescent lights, as the watch may be excessively heated resulting in damage to its internal parts.
- When charging the watch by exposure to direct sunlight, avoid places that easily reach high temperatures, such as a car dashboard.
- Always keep the watch temperature under 60℃ .

■ Power source

- The battery used in this watch is a special secondary battery, which is different from ordinary batteries.
- Unlike an ordinary silver oxide battery, the secondary battery does not require periodic replacement.
- However, if the secondary battery is charged or discharged repeatedly for a long time, its life may become slightly shortened (this depends on the conditions in which the watch is used or where it is stored).
- The secondary battery is an environmentally friendly, clean energy storage device.

⚠ CAUTION

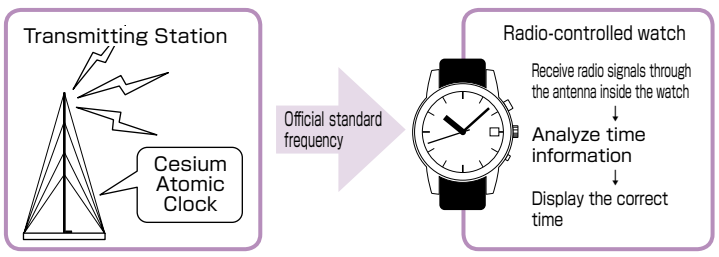
■ Notes on Replacement of the Secondary Battery

- When replacing the secondary battery, make sure that the exclusive secondary battery for this watch is used.
- Installation of an ordinary silver oxide battery can generate heat that can cause bursting or ignition.
- Even when a battery other than the exclusive secondary battery is substituted, electrical continuity cannot be obtained.

Setting the Time by Receiving Radio Signal

■ What is a radio-controlled watch?

The radio-controlled watch displays the precise time and date by automatically receiving and synchronizing itself with the radio signal of an official standard frequency.



Time signal transmitted by a standard frequency is based on a super accurate "Cesium Atomic Clock"that may have a 1 second loss or gain per one hundred thousand years.

Daily, radio signals are automatically received.

Automatic reception is performed every hour from 2 AM to 4 AM.

Automatic reception ends upon completion of satisfactory reception.

During this period of time, do not wear the watch, but put it "places where the watch can receive radio signals easily", for example, by a window, etc. and do not move it.

Whether or not the watch is successfully receiving radio signals can be checked at any time.

To check whether the watch is successfully receiving radio signals (Confirm reception result) ……page 54

When automatic reception failed because of an environment difficult to receive radio signals, etc., radio signals can be received manually.

When the watch is unable to automatically receive radio signals (How to manually receive radio signals)……page 62

※ If the time difference is set, the radio signal reception cannot be conducted. → Refer to "Troubleshooting," page71

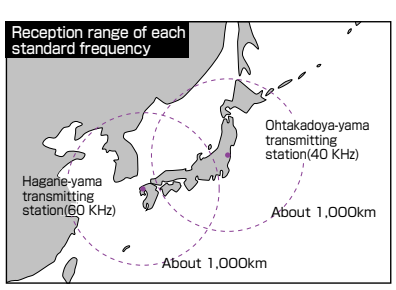
※ Whether the watch succeeds in receiving radio signals depends on the receiving conditions. → Refer to "Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals." page 53.

※ The watch cannot receive radio signals outside a reception range. → Refer to "Reception range of each standard frequency." page 52.

Appropriate Place to Keep a Radio-Controlled Watch

■ Reception range of each standard frequency

This watch receive official standard frequencies from transmitting stations in Japan,.



【Official standard frequency of Japan: JJY】

JJY is operated by the National Institute of Information and Communications Technology (NICT). JJY is transmitted from two stations in Japan. Each station transmits JJY in a different frequency.

- Fukushima (Ohtakadoya-yama transmitting station: 40 KHz)
- Kyushu (Hagane-yama transmitting station: 60 KHz)

The reception range from each transmitting station is approximately 1,000 km (1,000 km radius of each station).

※ Whether the watch succeeds in receiving radio signals or not depends on the receiving conditions → Refer to " Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals." page 53.

※ The watch cannot receive radio signals outside a reception range.

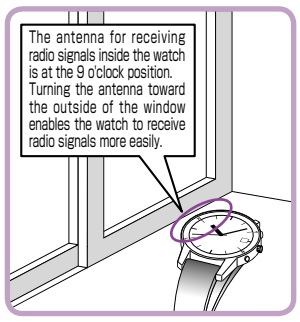
⚠ CAUTION

■ About receiving radio signals

- The watch may display the incorrect time if it fails to receive radio signals properly because of interference. The watch may fail to receive radio signals depending on the location or reception conditions. In such a case, change the location of the watch.
- Radio signals can easily be received during nighttime hours due to its characteristics.
- The watch moves depending on the quartz movement (loss/gain: _15 seconds per month) when it is unable to receive radio signals.
- The time signal transmission may be stopped during maintenance of the facilities of each transmitting station or because of a lightning strike. In such a case, see each station's website for further information or contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.。

- Websites of transmitting stations (as of June 2007)
- Japan: NICT (Japan Standard Time Project) http://www.nict.go.jp
- SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER: 0120-612-911 (toll free in Japan)

■ To enable the watch to receive radio signals easily


The antenna for receiving radio signals inside the watch is at the 9 o'clock position. Turning the antenna toward the outside of the window enables the watch to receive radio signals more easily.

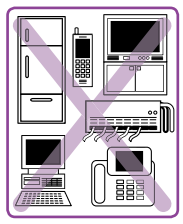
Place the watch where it can easily receive radio signals for example, close to a window.

This watch is equipped with the built-in antenna for receiving radio signals. The antenna is at the 9 o'clock position.

Turning the antenna toward the window or toward the direction to the transmitting station enables the watch to receive radio signals more easily.

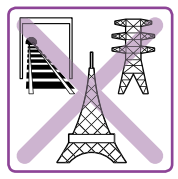
To enhance the reception of radio signals, do not move the watch by changing the orientation of the watch, tilting the watch, etc., while it is receiving radio signals.

■ Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals



- Close to home electrical appliances such as TV's refrigerators, and air conditioners or OA devices
- Close to OA devices such as PC's, fax, machines, and mobile phones
- Close to furniture made of steel, such as a steel desk

- Inside a building, between tall buildings, underground



- Close to overhead power lines, TV stations, and train cables

- In places generating radio interference such as construction sites, and in heavy traffic

- Inside a vehicle, train, airplane, etc.

Avoid these places when conducting a radio signal reception.

Confirm Reception Result

■ Confirm reception result

The last received result (successful or failure) is displayed irrespective of automatic reception and manual reception.

※ The watch cannot receive radio signals outside a reception range. → Refer to "Reception range of each standard frequency." page 52.
※ Whether the watch succeeds in receiving radio signals depends on the receiving conditions. → Refer to "Appropriate Place to keep a Radio-Controlled Watch" page 52-53.
※ If the time difference is set, the radio signal reception cannot be conducted. → Refer to "Troubleshooting" page 71.

① Press Button A once and release it.

② Check the reception result by the position of the second hand.

If reception succeeded,
Y (Yes)
2 o'clock position

If reception failed,
N (No)
4 o'clock position

Press Button A to move the second hand and indicate success or failure of reception. The reception result is displayed for 5 seconds.

※ If Button A is repressed in mid-process, the result display can be cancelled.

If reception cannot properly be performed, change the location or direction of the watch. Also, the reception environment varies even in the same location depending on the time period. Radio signals can easily be received during nighttime hours.

※ If Button A is kept pressed for 3 seconds or longer, the second hand points to the 0 second position and the watch enters the manual reception mode. In this case, repress Button A to cancel manual reception.

Time Zone Adjustment Function

■ Features of time zone adjustment function

Enables adjustment to overseas time on a 1 hour basis.

In almost all areas of the world, time differs by one hour.
Using the time zone adjustment function enables adjustment to overseas time on a 1 hour basis.

Based on the time difference from Japan

Adjust to overseas time based on the time difference from Japan.
Time differences all over the world from Japan are in a range between - 20 hours and + 4 hours.

When the time difference is set, the watch automatically displays the destination's local time.

In the time zone adjustment mode, the position of the second hand indicates the time difference from Japan.
When setting the time difference, operate the button using the second hand as a time difference indicator.

→ How to use the time zone adjustment function → Refer to pages 56 to 57
→ Time zone and summer time → Refer to page 58
→ World main area time zone list → Refer to page 59

■ Time zone adjustment Q & A

Q : When returning to Japan from overseas, is the time automatically set to Japan time?

A : Just moving cannot adjust the time to Japan time. After setting the time difference, radio signal reception is not performed. When wearing a watch in Japan, set to Japan time by use of the time zone adjustment function.

Q : The hands stop during operation of time zone setting, therefore, does time lag occur?

A : The internal circuit stores the time, therefore, no time lag occurs.

Q : How accurate is the watch while the time difference is being set.

A : While the time zone is being set, the watch has an accuracy of a normal quartz watch. (Monthly rate: ± 15 seconds)

Q : How is adjustment made to a local time with a time difference of 15 minutes or 30 minutes?

A : The time can be adjusted on a 1 hour basis by use of the time zone adjustment function. When adjusting to a local time with a time zone difference of 15 minutes or 30 minutes, please refer to the " How to manually set the time " on page 64.

How to Use Time Zone Adjustment Function

① Find out the time difference for a target location.

Check the time difference from Japan to the target location in advance.

→ Refer to "World main area time zone list." page 59.

② Press Button B to change the mode to the time zone adjustment mode.

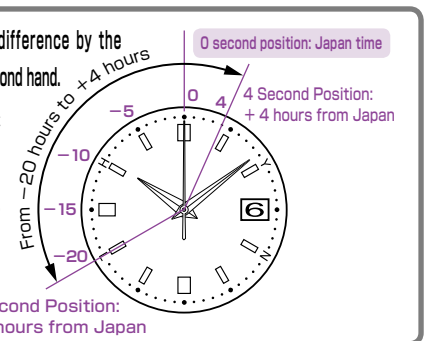
※ Button B is embedded to prevent from incorrectly being pressed. → Refer to page 46.

Press Button B using an object with a sharp point. The second hand moves to change the mode to the time zone adjustment mode.

※ If the watch is left untouched for more than 5 seconds in operation, the watch automatically returns to the time indication mode. In this case, repeat the procedures from STEP 1.

③ Check the time difference by the position of the second hand.

※ If the watch is left untouched for more than 5 seconds in operation, the watch automatically returns to the time indication mode.

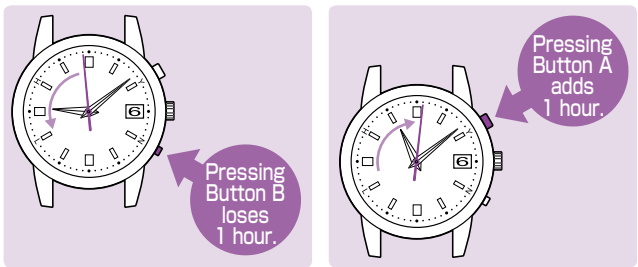


The second hand indicates how many hours of time difference from Japan have been set.
One second scale indicates one hour of time difference.

→ Refer to "World main area time zone list." P. 59.

※ When the second hand points to the 0 second position, the watch is set to Japan time. (The time difference from Japan is 0 hour.)

④ Set the time difference by the button based on the second hand



Each pressing of Button A or B moves the second hand one scale to set 1 hour of time difference. (Simultaneously, the hour and minute hands move at a fast speed.)
Pressing the button the necessary times based on the second hand will set the time difference to the target location.
The button can successively be pressed.

※ Watch the position of the second hand without minding movement of the hour and minute hands.

⑤ The destination's local time will be automatically displayed.

The hour and minute hands will stop fast-forwarding, and the second hand starts moving after 5 seconds.

The date will automatically change accordingly.

■ When you don't know how to operate in mid-process, leave the watch as it is for a while.
In 5 seconds after the hour and minute hands have stopped, the time zone adjustment mode is completed, and the watch enters the time indication mode. Afterwards, operate the setting again.

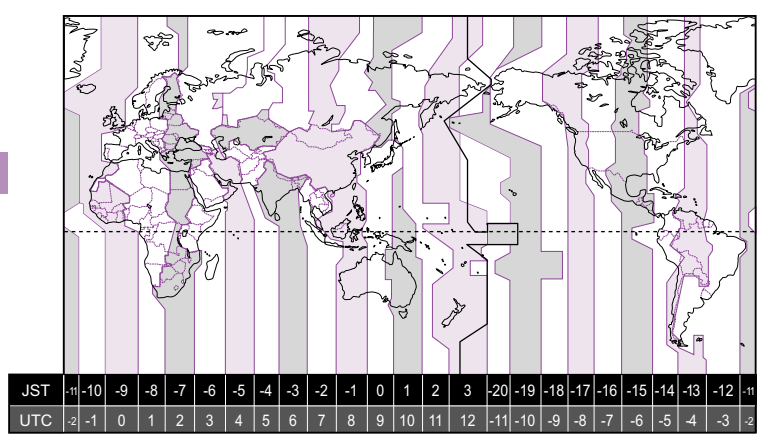
■ How many hours of time zone you have set can be checked by carrying out operations of STEP2 and STEP 3.

■ When returning to Japan, reset the time to Japan time by following the same procedure. The watch is set to Japan time when the second hand points to the 0 second position in STEP 3.

If the time difference is set, the radio signal reception cannot be conducted.
When using the watch in Japan, set the time to Japan time.

※ Neither the buttons nor the crown can be operated while the date is moving.

Time Zone and Summer Time



■ Around the world, there are the time differences【time differences】based on【Universal Time Coordinated (UTC)】. The world is divided into 24 areas (time zones) having a time difference of 1 hour each. The time zone for which a 24 period (one day) corresponds to one complete rotation of the earth is internationally administered. And depending on the area, Daylight Saving Time (DST) is individually set.

【Universal Time Coordinated (UTC)】
UTC is the universal standard time artificially maintained by international agreement. Around the world, it is used as the official time when a time is recorded. UTC is the time coordinated by adding a leap second to GMT (Greenwich Mean Time), which is determined through astronomical measurement, in order to keep the precise time. Japan Standard Time (JST) is 9 hours ahead of UTC (+ 9 hours).

【Daylight Saving Time (DST)】
Daylight Saving Time means summer time, which is a system to lengthen daylight time by advancing one hour when the daylight time is long in summer. Daylight Saving Time is [Time difference + 1 hour]. It has been adopted in about 80 countries mainly in Europe and the U.S. The duration and adoption area of daylight saving time depend on the country.

World Main Area Time Zone List

How to use the time zone adjustment function → Refer to pages 56 to 57

Names of the cities	Time difference with Japan Time	Position that the second hand indicates
Wellington (summer time)	+ 4 hours	4-second position
Wellington ★	+ 3 hours	3-second position
Noum_a	+ 2 hours	2-second position
Sydney ★	+ 1 hours	1-second position
Tokyo	± 0	0-second position
Hong Kong	− 1 hour	59-second position
Bangkok	−2 hours	58-second position
Dacca	−3 hours	57-second position
Karachi	−4 hours	56-second position
Dubai	−5 hours	55-second position
Moscow ★	−6 hours	54-second position
Cairo ★	−7 hours	53-second position

Cities marked with "★" use daylight saving time (as of July 2007).

※ There are few regions which has a time difference of 15minutes or 30minutes.
※ The time differences and use of daylight saving time in each city are subject to change according to the governments of the respective countries or regions.

Names of the cities	Time difference with Japan Time	Position that the second hand indicates
Paris ★	− 8 hours	52-second position
London ★	− 9 hours	51-second position
Azores ★	− 10 hours	50-second position
Rio de Janeiro (summer time)	− 11 hours	49-second position
Rio de Janeiro ★	− 12 hours	48-second position
Caracas	− 13 hours	47-second position
New York ★	− 14 hours	46-second position
Chicago ★	− 15 hours	45-second position
Denver ★	− 16 hours	44-second position
Los Angels ★	− 17 hours	43-second position
Anchorage ★	− 18 hours	42-second position
Honolulu	− 19 hours	41-second position
Midway Islands	− 20 hours	40-second position

Specification

■ Specification

1. Frequency of crystal oscillator ··· 32,768 Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
2. Loss/gain (monthly rate) ··· Less than 15 seconds (Except during automatic time setting, worn on the wrist within normal temperature range between 5° C and 35° C.)
3. Operational temperature range ··· Between -10° C and +60° C
4. Driving systems ···· Step motor (date, hour, minute hands and second hand)
5. Power source ····· Secondary battery, 1 piece
6. Duration of operation ··· Approximately 6 months (Fully charged, the Power Save not activated)
※ If the Power Save is activated, the watch continues to run for approximately one year and a half at maximum.
7. Time setting by receiving the JJY-LF radio signal ··· Automatic reception : 2:00, 4:00 AM
※ After having received the JJY-LF radio signal, the watch moves depending on the quartz movement until the next reception. Manual reception is also possible.
8. IC (Integrated Circuit) ··· Oscillator, frequency divider and driving circuit C-MOS-IC, 3 pieces

※ The specifications are subject to change without prior notice due to product improvements

When the Time and Date are not Correctly Displayed Even after Receiving the Radio Signal

■ The automatic hand alignment function

If radio signals can be successfully received but the incorrect time and date are displayed, the preliminary hand position may be misaligned.

The radio-controlled watch automatically sets itself to the precise time. However, if the preliminary hand positions are misaligned when the time is set, the watch cannot display the precise time even after it receives radio signals properly. It is like a scale which cannot display the correct weight because its hand is not set to the 0 position before weighting.

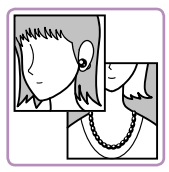
When the time, date and day of the week are not correctly displayed even after successful radio wave reception.
- Strong shocks can cause misalignment of the hand positions
  The hand positions may move out of alignment due to strong shocks to the watch when the watch is dropped or hit against a hard surface.
- Strong magnetism can cause misalignment of the hand positions
  The hand positions may move out of alignment when the watch is exposed to a magnetic source.

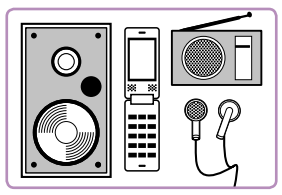
The automatic hand alignment function performs periodic checks once every one minute for the second hand position and once every twelve hours for the hour and minute hand positions.

※ If the date goes out of alignment, it is necessary to manually correct it. Refer to "How to check and correct the preliminary position of the date." page 68 to 69.

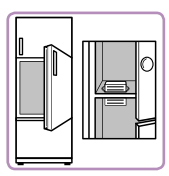
■ Examples of common products that generate magnetic field

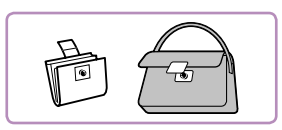
・Magnetic clip


・Magnetic necklace or earring


・Audio speakers, speakers of radio, earphones, mobile phones , etc.

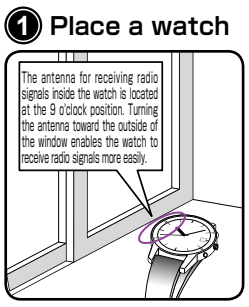
・Magnetic therapy products (compress, bedclothes, hip, bell, etc.)


・Magnets used in refrigerators or furniture


・Clasp of a handbag or a purse

How to Manually Receive Radio Signals (Manual Reception)

① Place a watch


The antenna for receiving radio signals inside the watch is located at the 9 o'clock position. Turning the antenna toward the outside of the window enables the watch to receive radio signals more easily.

Remove the watch and place it where it can receive radio signals more easily, such as by the window.

→ Refer to "To enable the watch to receive radio signals easily." page 53.

※ The watch is unable to receive radio signals outside a reception range.
→ Refer to "Reception range of each standard frequency." page 52.

② Press button A for more than 3 seconds.

Continuously press button A for more than 3 seconds until the second hand points to the 0 second position. When the second hand points to the 0 second position, release the button.

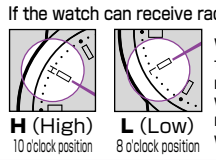
※ If the second hand does not return to point the 0 second position (when the watch fails to receive radio signals) → Refer to "Troubleshooting." page 71.

③ Wait until the end of reception without moving the watch.

It takes up to 12 minutes to complete the reception of radio signals.

During reception, the second hand indicates the radio signal reception condition or "reception level."

If the watch can receive radio signals,



Wait until the end of reception without moving the watch.

If the watch cannot receive radio signals,

The watch returns to the time indication display after 5 seconds.

The second hand moves every one minute, and the [reception level] display is updated. (The minute hand may move every one minute with movement of the second hand.) Wait until reception is completed and the second hand starts ticking.

※ If Button A is pressed during reception, the reception can be cancelled.

④ Reception completed.

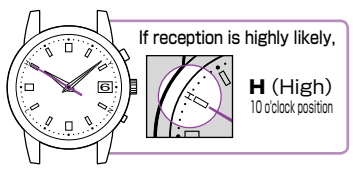
When the second hand starts ticking, reception is completed.

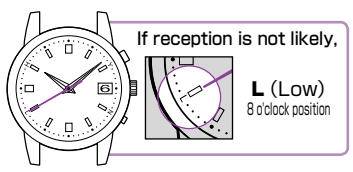
Check whether the watch could receive the radio signals.
→ Refer to page 54.

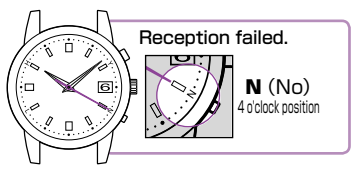
※ It may be difficult to receive radio signals depending on the environment. Refer to " Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals." page 53.

■ About the reception level display

During reception, the second hand indicates the radio signal reception condition or "reception level."
The second hand moves every one minute, and the [reception level] display is updated.







When the reception level is "N," it means "that the watch is in an environment unsuitable for radio signal reception." Reception is automatically cancelled after 5 seconds.

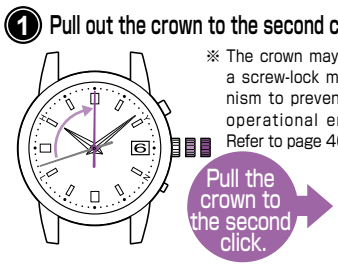
※ [N] of the reception level display is indicated only for 5 seconds. See the [reception result] to check whether the watch could receive the radio signal. → Refer to "Confirm reception result." P. 54.

When Reception is not Operated

■ How to manually set the time

When the watch is under conditions where it is unable to receive a frequency, the watch can be used as a normal quartz watch. In such a case, the time can be manually set. (Monthly rate: _15 seconds)

① Pull out the crown to the second click.

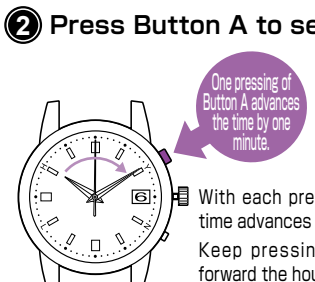


※ The crown may have a screw-lock mechanism to prevent any operational errors. Refer to page 46.

When the crown is pulled out to the second click, the second hand will move to the 0 position and the watch enters the manual time setting mode.

※ When the crown is pulled out to the second click, the reception result data will be erased. When this happens, the reception result display will indicate only "N."

② Press Button A to set the time.



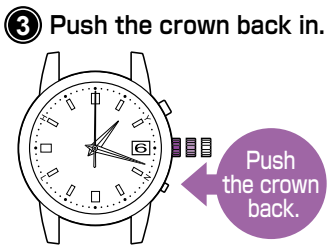
※ The moment the date changes is midnight. When setting the time, make sure that AM and PM is correctly set.

With each pressing of Button A, the time advances by one minute.

Keep pressing Button A will fast-forward the hour and minute hands and pressing it once again will stop them.

※ Turning the crown does not move the hands.
※ Set the time by advancing the hands. The hands does not move backward.

③ Push the crown back in.

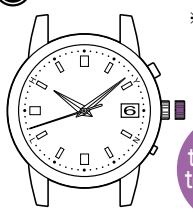


Upon pushing the crown back simultaneously with a time signal, the watch starts operating.

■ How to manually set the date

If the date cannot be automatically changed because the watch is in an environment where it cannot receive radio signals (or when the calendar changes from odd month to even month, etc.), adjust the date manually.

① Pull out the crown to the first click.



※ The crown may have a screw-lock mechanism to prevent any operational errors. Refer to page 46.

Pull the crown to the first click.

When the crown is pulled out to the first click, the watch enters the manual date setting mode. (The watch continues operating.)

※ When the crown is pulled out to the second click, the watch enters the manual time setting mode. Please note that the reception result data will be erased if this happens.

② Press Button A to set the date.

One pressing of Button A advances the date by one day.

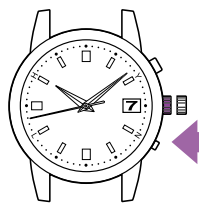
※ Turning the crown does not move the date.
※ Set the date by only advancing it. The date does not move backward.

With each pressing of Button A, the date advances by one day.

Keep pressing Button A will fast-forward the date and pressing it once again will stop it.

※ The date can be corrected independently of the time.

③ Push the crown back in.



Push the crown back.

Pushing the crown back in will complete the date setting.

Abnormal Display or Improper Function

■ How to reset the Built-In IC

When the watch shows an abnormal display or does not properly function, or does not move at one-second intervals even after being sufficiently charged, follow the instructions below to reset the built-in IC. Then the watch will resume its normal operation.

① Pull out the crown to the second click.

※ The crown may have a screw-lock mechanism to prevent any operational errors. Refer to page 46.

Pull the crown to the second click.

When the crown is pulled out to the second click, the second hand will move to the 0 position and the watch enters the manual time setting mode.

※ When the crown is pulled out to the second click, the reception result data will be erased. When this happens, the reception result display will indicate only "N."

② Keep pressing both Button A and B for longer than 3 seconds.

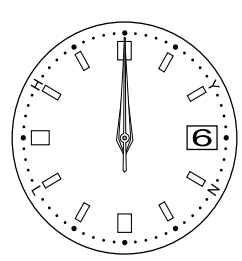
Button A

Keep pressing both for longer than 3 seconds.

Button B

After the second hand rotates a full circle, the hour and minute hands advance rapidly, and all the hands stop pointing to the 12 o'clock position. The date remains unchanged but stops.

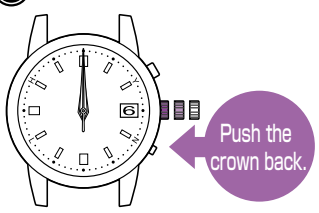
※ Button B is embedded to prevent from incorrectly being pressed. Refer to page 46.



※ Keep pressing down both Button A and B for longer than 3 seconds can reset the built-in IC, and it is not necessary to start pressing down both buttons simultaneously. You can start pressing Button B first, and while keeping it pressed, start pressing down Button A, if it is easier.

※ If the second hand moves at two-second or five-second intervals, the energy depletion forewarning function should be activated, thus it is not a malfunction (refer to " Checking the charging status "on page 47). The watch hands may rotate rapidly because the automatic hand alignment function is activated, however, it is also not a malfunction (refer to " The automatic hand alignment function "on page 61).

③ Push the crown back in.



Push the crown back.

Upon pushing the crown back in, the watch starts operating.

④ Set the preliminary position of the date.

Set the preliminary position of the date. Refer to pages 68 to 69.

※ The date returns to its preliminary position "1" right after the built-in IC is reset. If "1" is not shown in the calendar window, the preliminary position of the date is out of alignment.

⑤ Set the time.

Set the time by manually receiving radio signals. Refer to pages 62 to 63.

When the watch is unable to receive radio signals, set the time manually. Refer to page 64.
When setting the time manually, make sure that AM/PM is correctly set.

※ With the correct setting of AM and PM, the watch automatically receives radio signals when it can easily receive the official standard frequency.

About the Preliminary Position of the Date

■ How to check and correct the preliminary position of the date

If the date is incorrect even after the watch successfully received radio signals, it should be considered that the date is out of its preliminary position. If this happens, it is necessary to correct the preliminary position of the date by following the procedures below.

① Keep pressing both Button A and B for longer than 3 seconds.

Button A

Keep pressing both for longer than 3 seconds.

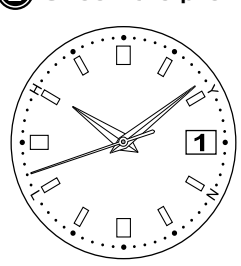
Button B

The hour, minute, and second hands stop moving on the spot, and the date starts moving.

※ Button B is embedded to prevent from incorrectly being pressed. Refer to page 46.

※ Keep pressing down both Button A and B for longer than 3 seconds can carry out this operation, and it is not necessary to start pressing down both buttons simultaneously.

② Check the preliminary position.



If "1" is shown in the calendar window, the preliminary position of the date is correct.

If "1" is not shown, correct the preliminary position.

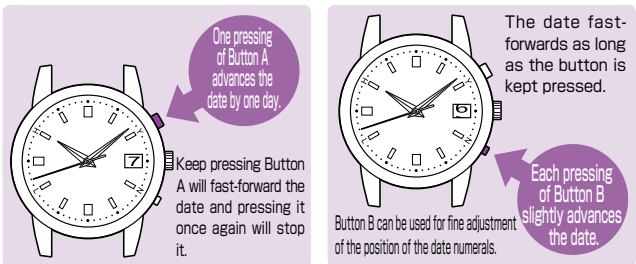
If "1" is shown in the calendar window, no further operation is required.

※ If the watch is left untouched for more than 8 seconds in operation, the watch automatically returns to the time indication mode. In this case, repeat the procedures from STEP 1.

※ You can start pressing Button B first, and while keeping it pressed, start pressing down Button A, if it is easier. If you press Button B only and release it, the watch enters the time zone adjustment mode. If this happens, wait until the second hand starts moving so that the time zone adjustment mode is automatically cancelled, and then repeat the same procedures as above.

In order to accurately correct the preliminary position of the date, stop the date at "30" or "31" and check the alignment of the date numerals in the calendar window. Press Button B to fine-tune the alignment of the date numerals if necessary, and then press Button A to set the date to "1."

③ Press either Button A or B to set the date to "1".


One pressing of Button A advances the date by one day.
Keep pressing Button A will fast-forward the date and pressing it once again will stop it.
The date fast-forwards as long as the button is kept pressed.
Each pressing of Button B slightly advances the date.
Button B can be used for fine adjustment of the position of the date numerals.

④ The preliminary position-setting mode is automatically cancelled.

The watch automatically returns to the time indication mode.

TOUBLESHOOTING

Trouble		Possible Cause	Solution
Movement of the watch hands	The second hand moves at two-second intervals.	The energy depletion forewarning function is activated. If this function is activated even though you wear the watch everyday, the watch may be unable to receive sufficient light because it is concealed under a long sleeve shirt, etc.	Charge the watch sufficiently. Refer to "Energy depletion forewarning function" on page 47. Refer to "How to Charge" on page 49. Make sure that the watch is not concealed under a sleeve while you are wearing the watch. When taking the watch off, place the watch in a location as bright as possible. (Make sure that the temperature is always kept below 60_ C when placing the watch in a bright location.)
	The second hand moves at five-second intervals.		
	The stopped second hand pointing to the 3 o'clock position or 9 o'clock position started moving.	The Power Save has been activated to limit energy consumption. When the watch is used or stored continually under conditions where it cannot receive sufficient light, the power save function is automatically activated in order to reduce unnecessary energy consumption.	Refer to "Power Save Function" on page 48. If the watch moves at five-second intervals, immediately charge the watch.
	The watch hands are fast forwarded even though no button is pressed, and then the watch resumes regular movement.	The automatic hand alignment function was activated. When the hand positions deviate to display incorrect time as a result of influence of various external sources, the watch automatically corrects the hand alignment itself.	Use the watch as it is (this is not a malfunction). For details, refer to "Automatic Hand Alignment" on page 61.

Trouble		Possible Cause	Solution
Radio signal reception	The watch cannot receive radio signals.	The watch is moved while it is receiving radio signals.	Do not move the watch such as tilting or changing the orientation of the watch while it is receiving radio signals. → Refer to "To enable the watch to receive radio signals easily" on page 53.
		The reception is cancelled while the watch is receiving radio signals.	Repressing button A during reception cancels the reception while the automatic or manual reception is being performed.
		During automatic reception, the watch was left where radio signals were weak or where it could not receive radio signals.	Place the watch where it can receive radio signals easily to allow it to conduct automatic reception. Refer to "Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals " on page 53.
		JJY-LF stations may stop transmitting time signals for some reasons.	See the website of Communication Research Laboratory (CRL) for further information concerning the transmission of time signals. Refer to "CAUTION About receiving radio signals" on page 52.
		The watch may be set to the time in different time zone from Japan Standard Time.	Check that the time difference is set. Adjust the time to Japan Time. Refer to "Time Zone Adjustment Function " on page 56.
		The manual reception of radio signals is not conducted after the time is manually set.	Set AM/PM correctly. Refer to "How to manually set the time" on page 64. Refer to "How to manually set the date" on page 65.

TOUBLESHOOTING (continued)

Trouble		Possible Cause	Solution
Display of incorrect time or misalignment of the hands	The watch temporarily gains or loses time.	The watch receives a wrong radio signal because of a result of influence of various external	Place the watch where it can receive radio signals more easily. Conduct the manual reception if necessary. Refer to "Conditions in which the watch may be unable to receive radio signals" on page 53. Refer to "How to Manually Receive Radio Signals (Manual Reception) "on pages 62 to 63.
		The watch has been left in extremely high or low temperatures for a ling time.	When the watch returns to normal temperature, the condition will be corrected. Conduct the manual reception if necessary. Refer to "How to Manually Receive Radio Signals (Manual Reception) "on pages 62 to 63.
	The time displayed on the watch is several hours before or ahead of the current time.	The watch may be set to the time in different time zone from Japan Standard Time.	Check that the time difference is set. Adjust the time to Japan Time. Refer to "Time Zone Adjustment Function" on page 56 to 57.
	The reception result display confirms successful reception but the incorrect time is displayed.	The hand positions deviate to display incorrect time as a result of influence of various external sources.	No adjustment is required. Wear the watch as it is. The automatic hand alignment function will automatically correct the hand position. Refer to "The automatic hand alignment function" on page 61.
	The second hand is not correctly positioned in the reception result display or reception level display.	The second hand is out of preliminary position. This happens when the position of the second hand deviates to display incorrect time as a result of influence of various external sources.	If the hand positions are not corrected automatically, reset the built-in IC. Refer to "How to reset the built-in IC" on pages 66 to 67. If the hand positions are not corrected even after the built-in IC is reset, contact the retailer from whom the watch was purchased.

Trouble		Possible Cause	Solution
Charging the watch	The stopped watch was exposed to adequate light for a longer time than "the time required for fully charging the watch," however, it does not resume its normal one-second interval movements.	The light is too weak or the manner of lighting the watch has been altered while the watch is being charged.	Place the watch where it can be exposed to an adequate light source. Make sure that the manner of lighting the watch is not altered while the watch is being charged.
		The built-in IC has fallen into an unstable condition.	Reset the built-in IC. Refer to "How to reset the built-in IC" on pages 66 to 67.
Button operation	Buttons or crown cannot be operated.	The energy stored in the watch runs low and the second hand moves at two-second intervals.	Charge the watch sufficiently. Refer to "Energy depletion forewarning function" on page 47. Refer to "How to Charge" on page 49.
		Small amount of water has got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.	Wait until the date numerals in the calendar window stop. After the date numerals stop, the crown and buttons can be operated.
	You don't know how to operate in mid-process.	----------	Leave the watch as it is for a while. The watch resumes regular movement. (When setting the time manually, adjusting the date manually or resetting the built-in IC, push the crown back in.) Afterwards, carry out the setting procedures once again.
Others	Blur on the dial glass persists.	Small amount of water has got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.

CARE OF YOUR WATCH

⚠ CAUTION

■ Water resistance

・Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.

		Designed and manufactured to withstand the water usually experienced in a daily- living such as splashes and rain.	Designed and manufactured for swimming and kitchen work.	Skindiving without scuba and bathing	Genuine diving using scuba or heliumgas.	Button operation when the watch is wet.
"WATER RESISTANT" is not inscribed on the back of your watch case.		×	×	×	×	×
"WATER RESISTANT" is inscribed on the back of your watch case.		○	×	×	×	×
"WATER RESISTANT 5・10・15・20 BAR.", "WATER RESISTANT" and marks inscribed on the back of your watch case.	5 BAR	○	○	×	×	○
	10・15・20 BAR	○	○	○	×	○

⚠ CAUTION

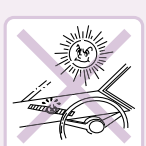
・Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.
・Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deferioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
・Do not wear the watch while talking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
・Do not pour running water directly from faucet. The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

⚠ WARNING

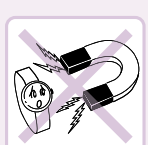
・If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
・If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
・If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

CARE OF YOUR WATCH (continued)

■ Place to keep your watch



・If the watch is left in a temperature below -10℃ or above +60℃ for a long time it may function improperly or stop operating.
※ This watch is so adjusted that it will maintain stable time accuracy in normal temperatures.(5℃～ 35℃)
It will lose or gain slightly, but it will regain high time accuracy when it returns to normal temperature.



・Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.

・Do not leave the watch where there is strong vibration.
・Do not leave the watch in a dusty place.

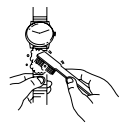
・Do not expose the watch to gases or chemicals.
(Ex.: Organic solvents such as benzine and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury and iodine antiseptic solution.)
・Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides insede.

⚠ CAUTION

■ CARE OF YOUR WATCH

- The case and bracelet touch the skin directly just as underware. If they are left dirty, the edge of a sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.
- Please wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth.
- To clean the clearances (around the metal bracelet, crown or case back) , a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown (No need to pull out the screw lock type crown.)

<METAL BRACELET>



- Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water. If your watch is not water-resistant, be careful not to get the case wet when cleaning.

<LEATHER BAND>

- When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as this may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.

<SOFT PLASTIC BRACELET>

- The bracelet made of soft plastics does not require special care. If it gets dirty, however, it may cause trouble to the skin. Rinse it with soapy water from time to time. Since it is a chemical product, it may deteriorate by the use of solvents. The band will become hardened or discolored after several years of use. In that case, replace it with a new one.

CARE OF YOUR WATCH (continued)

⚠ CAUTION

■ RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet or band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible causes of the rash are as follows:
  1. Allergy to metals or leathers
  2. Rust, dust or perspiration on the watch or band

⚠ CAUTION

- If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other

⚠ CAUTION

■ Antimagnetic quality of analogue quartz watches

Type of antimagnetic watches by JIS	Certified level of anti-magnetism	Indication of antimagnetism on the case back	Antimagnetic quality
—	1,600A/m	No indication	Your watch will not be affected by the level of magnetism ordinary watches can withstand.
Type 1	4,800A/m	CI	Your watch will not be affected by the magnetism generated household appliances at a distance of down to 5 cm.
Type 2	16,000A/m	CII	Your watch will not be affected by the magnetism generated household appliances at a distance of down to 1 cm.

※ Diver's Watches are antimagnetic without exception. Therefore, there is no such indication on the case back.

■ PRECAUTIONS ON WEARING YOUR WATCH

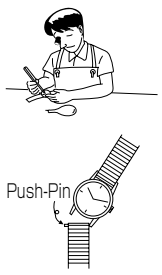
Take utmost care in the following cases:

- When clasping and unclasping the band, you may damage your nail, depending on the type of clasp used with band.
- In case you tumble and fall or bump into others with the watch worn on your wrist, you may be injured by the reason of the fact that you wear the watch.

AFTER-SALE SERVICE

■ Notes on overhaul

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 3 to 4 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts may occur due to contamination of oil, which may ultimately lead the watch itself to stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) . For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) , make sure that the



■ Notes on the replacement parts

1. If the watch requires service, take it to the retailer from whom the watch was purchased. If the trouble occurs within the guarantee period, submit the ceirtificate of guarantee togerther with the watch. Guarantee coverage is spelled out in the certificate of guarantee. Please read it carefully and keep the certificate for ready.
2. SEIKO makes it a policy to usually keep a stock of spare parts for its watches for 7 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used noemally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
3. The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the condition under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you counsult the retailer from whom the watch was purchased, when having them repair your watch.
4. The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced. Depending on the condition of the watch, the complete set of the watch body may be replaced with a new one or substitute product.
5. For repair after the guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom the watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

WIRED

取扱説明書 INSTRUCTIONS

説明書 7BC

WIRED 説明書 7BC

● お客様相談室

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング 8 階

お客様相談窓口 全国共通フリーダイヤル **0120-612-911**（上記の最寄地に着信します）

セイコーウオッチ株式会社

http://www.seiko-watch.co.jp